

2020年11月6日（金） 15:00-15:45

1

日タイ経済協力セミナー

「内閣改造後のタイの経済政策～EECと重要産業の進捗～」

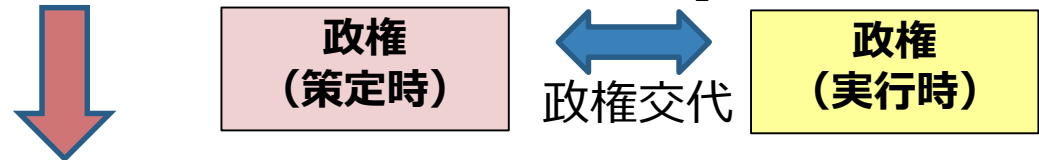
背景説明と問題提起



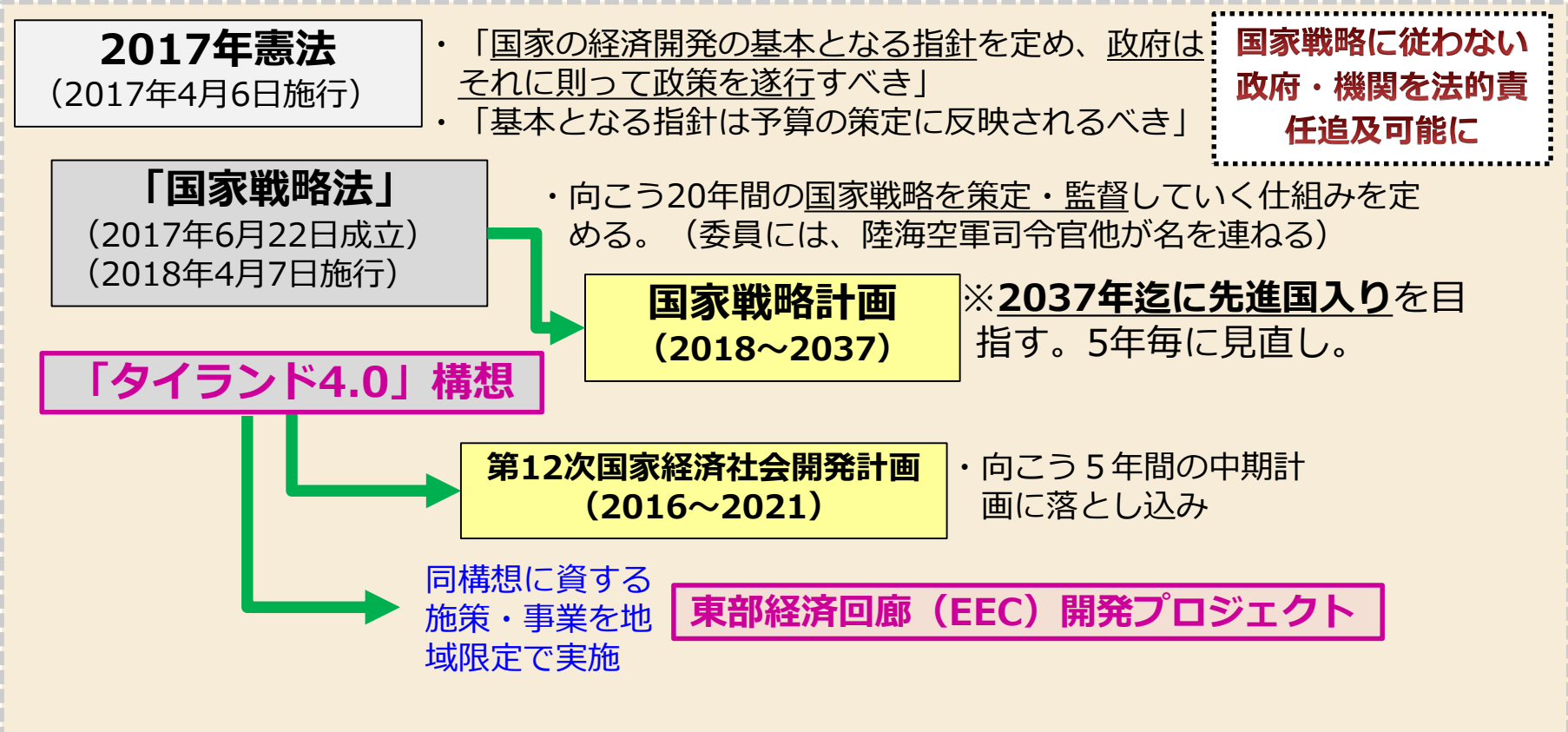
国士舘大学 政経学部 助川成也

[東部経済回廊 (EEC) 開発プロジェクトの位置付け]

◆これまでの「国家経済社会開発計画」(5カ年計画) や「インフラ整備計画」



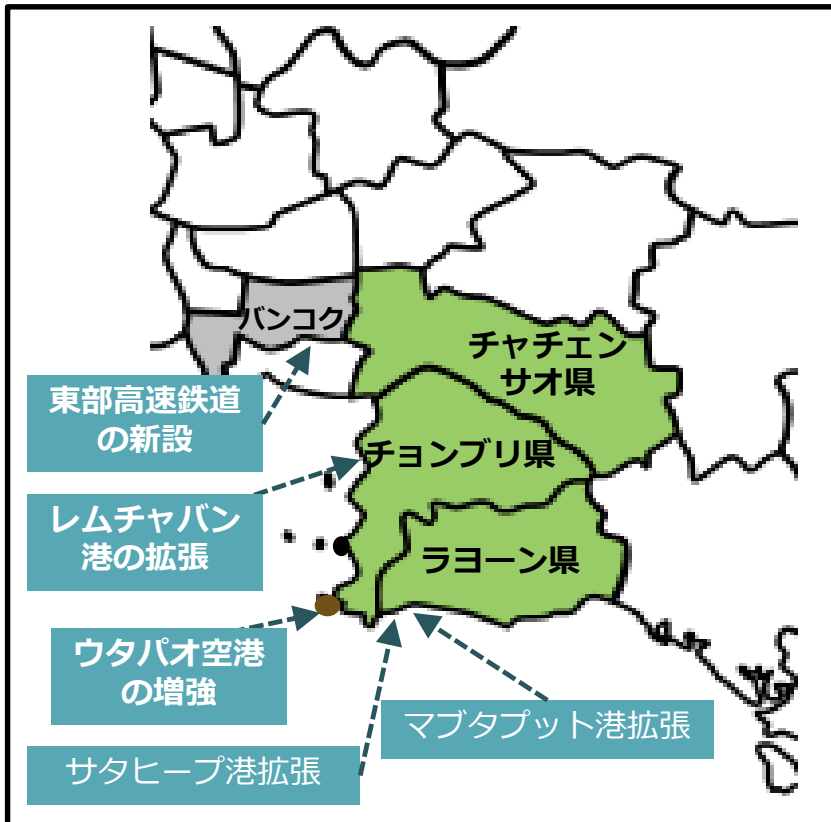
▼政権が交代しても、「効力」を持ち続ける計画へ。



[東部経済回廊 (EEC) とその行方]

- ◆タイ政府は「タイランド4.0」を加速させるため、先行的に**ラヨン・チョンブリ・チャチエンサオの東部3県**に東部経済回廊 (Eastern Economic Corridor : EEC) を設置し、「Sカーブ産業」を誘致。
- ◆EEC実現のため、当該3県に空運、道路輸送、鉄道輸送等交通インフラを重点的に投資予定

▽EECにおける主要インフラ投資計画



▽EECにおける投資認可実績 (18~20年1~6月累計)

(単位：100万バーツ、件)

	投資全体		外国投資		外資シェア	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
直接投資全体	3,785	1,210,020	2,353	713,058	62.2%	58.9%
EEC計	1,087	714,942	850	422,818	78.2%	59.1%
チョンブリ	529	364,098	427	174,937	80.7%	48.0%
ラヨン	406	270,452	324	203,891	79.8%	75.4%
チャチエンサオ	152	80,392	99	43,990	65.1%	54.7%
EECのシェア	28.7%	59.1%	36.1%	59.3%		

(注) 17年のEEC向けFDIは、内資・外資に分別されず、割愛。
(資料) タイ投資委員会 (BOI) 認可統計

▽経済の司令塔ソムキットチーム、辞任

20年7月

- ・ソムキット副首相
- ・ウタマ財務相
- ・ソンティラット・エネルギー相
- ・スウィット高等教育・科学・研究・技術革新相



- ・ポスト・ソムキット。誰がEECを推進？
- ・コロナ禍の影響は？
- ・他の県は不満では？